

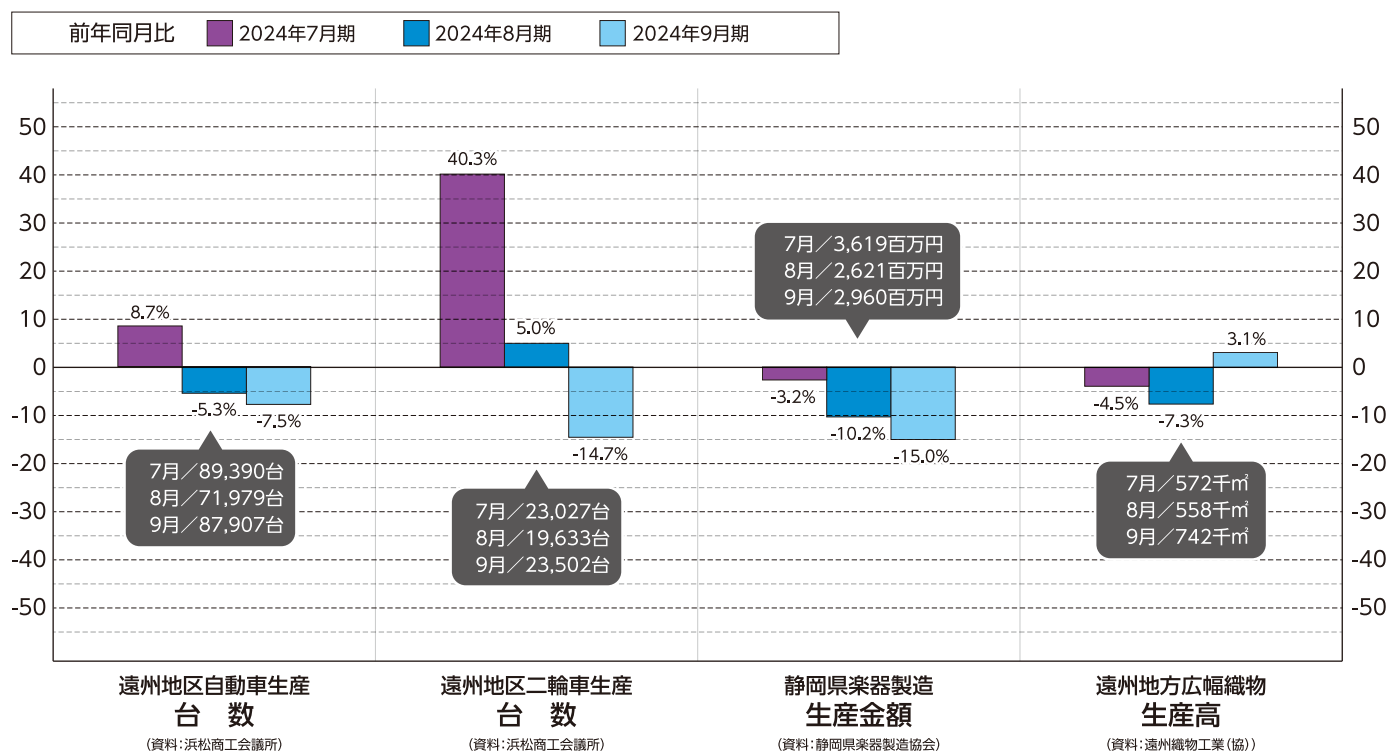
浜松地域の経済動向

2024年
9月を中心に

製造業は自動車・二輪車・楽器が前年比減少となり、
非製造業もイベントなどが少なく減少となった。

自動車の9月生産台数は、国内向け・輸出ともに前年比減少となったが上半期(4-9月)では増加している。二輪車は3カ月ぶりに前年同月を下回った。楽器は、中国経済の低迷によりピアノが落ち込み4カ月連続で前年同月を下回った。タクシーは、昨年秋の運賃改定により売上は前年比プラスだが乗車人員はマイナスとなっている。ホテルの稼働率はイベントなどが少なく集客が難しい状況にある。外国為替は2カ月連続で円高となり、143.38円となった。

① 製造業〈主要経済指標〉



自動車



2024年9月における遠州地区の自動車生産台数は前年比7.5%減の8.7万台となり、2カ月連続で前年同月を下回った。排気量別に区分して前年同月と比較してみると、軽自動車は0.2%減、小型四輪車は20.0%減、普通自動車は51.6%減となっている。国内向けは1.8%減、輸出向けは23.6%減でいずれも2カ月連続の減少となっている。24年度上半期(4-9月)の生産台数は前年同期比6.8%増と堅調だった。

二輪車



2024年9月における二輪車生産台数は前年比14.7%減の2.3万台となり、3カ月ぶりに前年同月を下回った。国内向けは39.0%減、輸出は11.2%減でいずれも3カ月ぶりに前年同月を下回った。排気量別では、50cc以下117.2%増、51cc～125cc以下31.9%増、126cc～250cc以下9.6%増、生産台数の大半を占める251cc以上は31.0%減と2カ月連続で大きく減少した。

楽器



2024年9月における楽器生産金額は前年同月比15.0%減の29.6億円となり、4カ月連続で前年同月を下回った。中国経済の低迷によりピアノの生産が減少している。一方、管楽器はコロナ禍で飛沫防止のため吹奏楽の活動を控えていたが、活動が再開したことで生産が増加している。分野別生産高を前年同月と比較してみると、ピアノ38.3%減、電子・電気ピアノ3.6%増、電子オルガン26.3%減、管楽器4.2%増となった。

繊維



2024年9月の生産高は前年同月比3.1%増の742千㎡となり、3カ月ぶりに前年同月を上回った。来春夏衣料向けの生地生産が本格化し、産地内の織布工場の稼働率も高まっている。特に、自販型の工場では、フル稼働状態であり、安定した受注を確保している。更に、これまで取引のなかった企業からも問い合わせがあるなど、現状では対応し切れない状況が出始めている。

② 非製造業〈主要経済指標〉

運輸



2024年9月におけるタクシー乗車人員は、前年同月比7.0%減の28.6万人となった。運輸収入は、昨秋の運賃改定効果があり前年比プラスだが、乗車人員は前年比マイナスとなっている。運賃改定効果が一巡するため、今後は配車アプリなどの活用による乗車人員の伸びがカギになる。

観光

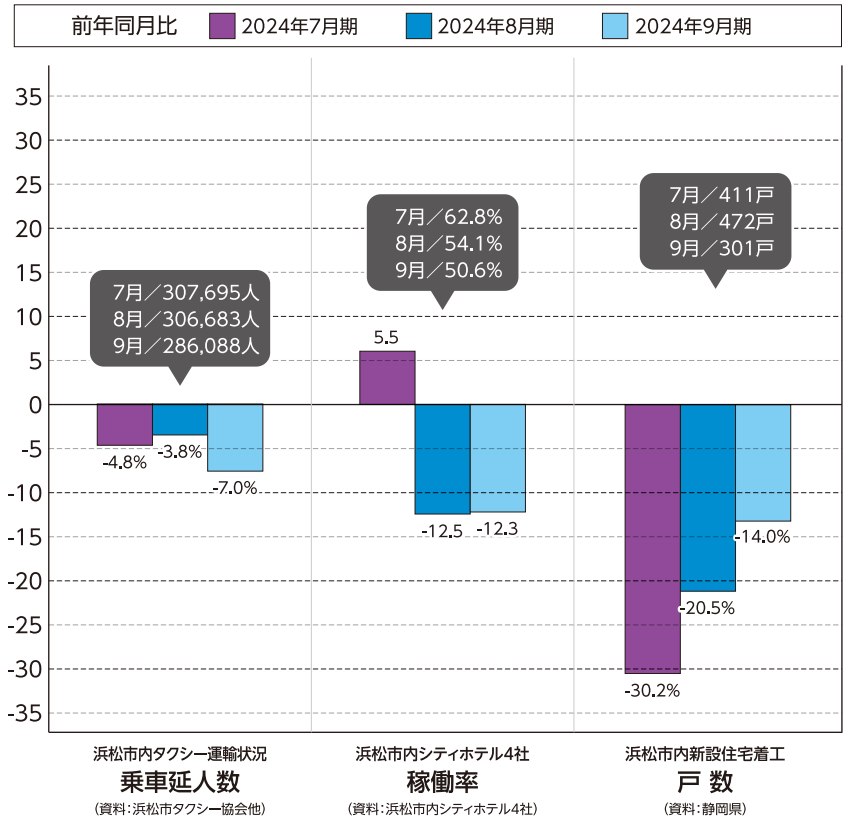


2024年9月の浜松市内ホテルの稼働率は50.6%であり、2カ月連続で前年比マイナスとなった。インバウンドの団体客は好調であるものの、9月はイベントなども少なく集客が難しい状況であった。

住宅着工



2024年9月における浜松市の新設住宅着工件数は、前年同月比14.0%減の301戸となり3カ月連続の減少となった。内訳をみると、持家は165戸、貸家97戸、分譲住宅39戸で、前年同月と比較すると、持ち家が13戸、貸家が10戸、分譲住宅が26戸の減少となった。



③ その他〈主要経済指標〉

有効求人



ハローワーク浜松管内における2024年9月の有効求人倍率は前年同月比0.16ポイント下降の1.16倍となり、前月との比較では0.03ポイント上昇した。全国(1.24)との比較では0.08ポイント下回っているが、静岡県(1.12)との比較では0.04ポイント上回った。前年と比較して求人数は減少傾向にあるが、建設業や運送業など不足している業種もあり、人手不足の二極化がみられる。

倒産企業



2024年9月における静岡県信用保証協会浜松支店の代位弁済件数は51件、金額は4.8億円となり、前年同月と比較すると件数6件、金額1.5億円の減少となった。24年度上半期(4月-9月)の前年対比では件数36件、金額5.5億円の減少となっているが、中小企業にとっては厳しい経営環境が続いており、まだまだ予断を許さない状況にある。

ガソリン価格



2024年9月第1週のレギュラーガソリン価格は1リットル当たり174.8円で前年同月比では11.5円の減少となり、2カ月連続で前年同月を下回った。アメリカ経済の減速懸念や中国経済の低迷が世界的なガソリン需要の減少に寄与し、原油価格下落の一因となった可能性がある。

外国為替



2024年9月の外国為替は1ドル143.38円で、前年同月比4.29円の下落となり、円高となった。前月との比較でも2.85円下落し、2カ月連続の円高となった。米ドル金利の先行き不透明感が高まり、ドル売りが進んだことで円高が進んだ。

